

# 進路だより ～海外での活動に興味のある方へ！～

進路指導部 守谷 薫

進路や将来のことを考えたときに、漠然と海外に興味を持つ方も多いと思います。今回はメジャーな留学の種類や、実際に海外で活動経験がある先生にインタビューした内容を掲載します。



## ●語学留学

「英語が話せるようになりたい」「中国語を使う仕事に就きたい」など語学を学びたい方にぴったりなのが語学留学。留学期間や年齢、語学力に制限がなく、留学先や留学期間なども豊富に選べるため、チャレンジしやすい留学です。

## ●ワーキングホリデー（ワーホリ）

海外で働きながら語学の勉強をしながら海外生活を送れる制度です。国によっても異なりますが、基本的には18歳～30歳の方を対象に制度が設けられています。英語圏からヨーロッパ、アジア圏まで、様々な国でこの制度を利用できます。

参考文書：留学くらべる

## 海外での活動経験がある田中悠太先生に、お話を聞いてみました！

**Q：海外での活動場所と活動期間** → アフリカにあるザンビアという国。2018年1月～2022年10月まで住んでいました。

**Q：どのような活動をしていましたか** → 2年間は農村部にある学校で青年海外協力隊（ボランティア）として学校の先生をして、子どもたちに算数や英語の読み書きの指導をしていました。その後、ザンビア国内で医者がおらず医療が届かない地域により良い医療を届ける活動を行っていました。実際には医療行為を行うわけではないので、ニーズ調査を行い、産婦人科病棟の建設をしたり、農村部でも使用できるエコを導入し、その使用方法の指導等を専門家と一緒に行っていました。自分の役割はというと、事業の進捗管理や経理、日本政府や現地政府、関係機関との業務調整です。

**Q：行こうと思ったきっかけ** → 大学時代に、開発途上国について学びました。以前、別のアフリカの国を訪れた際に、現地の様子を見て、自分もここで何かできることに挑戦したいと思ったのが一番大きいです。今では大好きな国で、もう一つの故郷だと思っています！

**Q：海外で生活するにあたり大変だったこと** → インフラが整っていないことです。停電や断水が起こることが多く、シャワーに入りたいタイミングで断水すると最悪です(笑)でも、慣れれば大丈夫です。

**Q：行ってよかったと思ったこと** → 自分の人生が間違いなく良い方向に向かいます。幅広くものごとを捉えられるようになると思います。想定外のことが起こっても、対応できる能力や、想定外のことを想定内にして、事前に頭の中に入れながら生きられるようになると思います。

**Q：海外に行く前に準備しておいた方がよいこと** → 海外に行く前に準備できることは、まずは言葉の壁を少しでも下げられるように英語の勉強はした方が良いと思います。

**Q：海外に興味がある人に一言** → 少しでも海外に興味があるならば、行った方が良い。行ってダメなら帰ってくれば良い。気に入ったなら続けられれば良い。You can do it!

